



楽器の森

岳本恭治

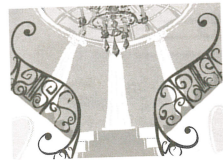
P.93 ~ 94

鍵盤は、直接指先が触れる重要な部品です。鍵盤を押し下げるときに感じる重さは平均50gで、元に戻るときに抵抗力は平均25gです。鍵盤を指先で触れて押し下げて音符の長さ分押し続けるとき、不必要な力を入れっぱなしにはいけません。また元に戻るときに、指を筋力のみによって上げたり必要以上に手首や肘を動かすと、無駄な力が入ってしまいます。すると、次の打鍵に悪い影響を与え、腕が痛くなったりだるくなったりしてしまいます。したがって、鍵盤が元に戻る抵抗感を指先に感じながら、指の力をスーッと抜く必要があります。これが「脱力を意識した奏法」における重要なポイントです。

一方、鍵盤は水平で、押し下げると斜めになると思われがちですが、実際には、手前部分が少し持ち上がっていて、テコの原理で動いています。生徒たちが理解しやすいように、手前が少し持ち上がっているシーソーをイメージさせてください。

ビー玉の実験では、手前に置くと奥に向かってコロコロと転がっていくのがわかると思います。テコの原理を考えると、指先を起こして鍵盤に接触させて手前側を弾くのが、最も効率の良い打鍵だということになります。

鍵盤は時代によって変化し、ピアノが発明されたときの54鍵からスタートし、現代では88鍵が一般的です。また、低音部の豊かな倍音を利用して豊かな響きで奏するために、92鍵や97鍵のピアノを、ベーゼンドルファー社が製造しています。



音楽史の館

小宮正安

P.95 ~ 96

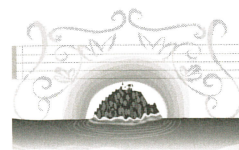
解説

フーガは日本語で「遁走曲（とんそうきょく）」などとも言われます。バッハをはじめとするバロック時代に咲いた音楽形式の典型ですね。

ちなみにバロックとは「歪んだ真珠」という意味で、この時代の美術や彫刻、そして音楽を指して、後の時代の人々がどちらかというとネガティブな目線で名付けたものです。真珠のように美しいのだけれど、どこか歪んでいるということなのでしょう。たしかにバロック時代には絢爛豪華さが持てはやされ、王侯貴族や教会は競って煌びやかな芸術を推奨しました。ですがそうした光の裏側には、戦争や災害、ペスト等の病といった影の部分が常に拭いがたくまとわり付いていたのです。

問題1の写真も、実はペストが終息したことを記念して、時の皇帝が街の真ん中に建てたものです。何とも巨大で煌びやかなモニュメントですが、その陰には病や死のイメージが存在している…。でもだからこそ、はるか彼方の天を目指して、雲が湧き上がってゆくというモチーフが採り入れられたのではないのでしょうか。

煩悩の多いこの世から逃れるごとく、ひとつのテーマから逃げるようにそのテーマを基とした新たなテーマを出し、それらの積み重ねによって最後に神の住む光の世界を出現させる…。バロック時代を彩る特有の光と影が、フーガをもたらしたのだといっても過言ではありません。



譜読みの島 第3回

池川礼子

P.98 ~ 99

「譜読みの島」、第1, 2回は、いかがでしたか？ クイズ感覚で楽しくトライしていただけると嬉しいです。今回は、**1** **2**の簡単マーク（😊）の問題では、へ長調の「ふぁらど」にこだわりました。**4**は、ゆくゆくは、バッハのアナリーゼなどで役立ってくると思います。

毎回、少しずつ問題の内容を変化させていますが、生徒さんたちが解けた喜びを感じながら、譜読みに強くなってくれることを期待しています。

頭をかなり使うと思いますので、脳の刺激にもなりそうですね！ **5**の迷路は、少し頭の固い編集部の方たちは、かなり苦戦したようですよ！（笑）

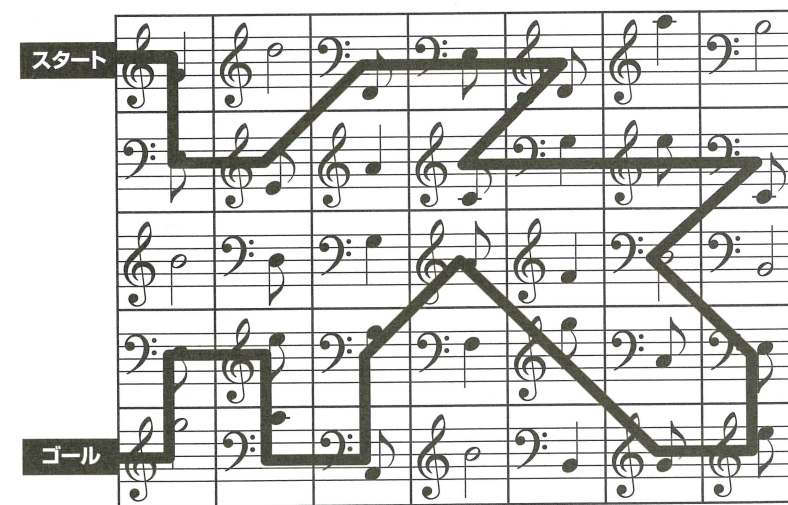
【答え】 ※ **2**と**4**の答えは、省略いたします。

1の答えは、「あじさい」。

3は、

- (a) (そ) (ら) に浮かんでいるもの → 雲
- (b) (み) (ど) り色のもの → 葉っぱ
- (c) (し) - (そ) -
- (d) (れ) もん
- (e) (み) (そ) (し) る

5の迷路



まちがいがし いくつわかるかな？

下の絵は、1705年ごろ、作曲をしているヨハン・セバスティアン・バッハです。よく見ると、おかしなところが5カ所あります。どこだかわかりますか？

- ヒント① 4期でいうと、この時代は何時代？
 ヒント② バッハはこの国の何人？



絵—伊東宣哉

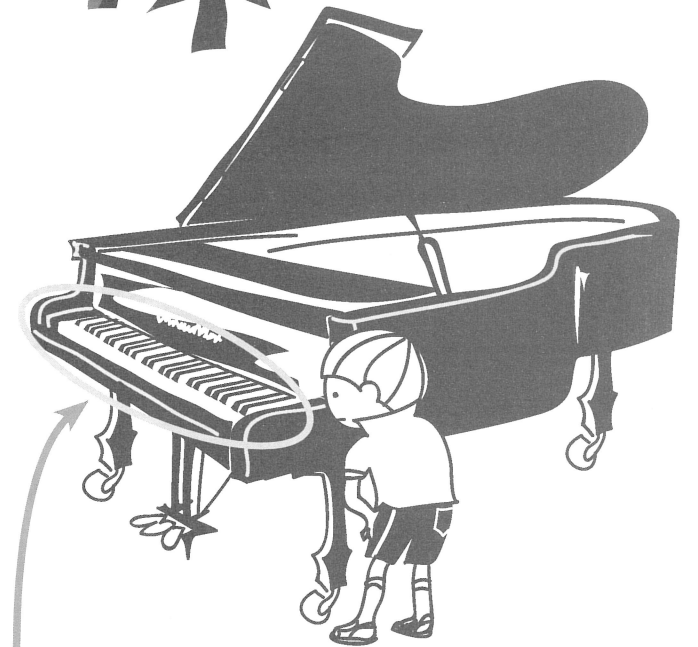


クイズ ①

ピアノの鍵盤には、いくつかの部分が並んでいるかな？

ヒント

一番低い音の出るところから、1つずつ上のほうに数を数えながら弾いてみよう。



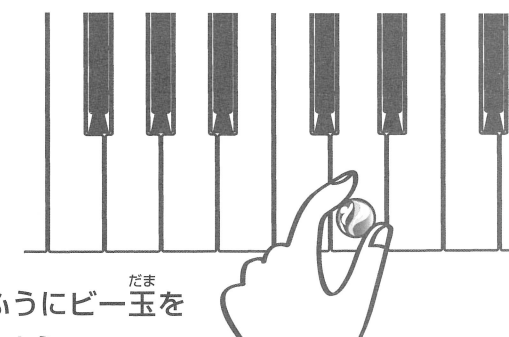
ここが鍵盤だよ。

クイズ ②

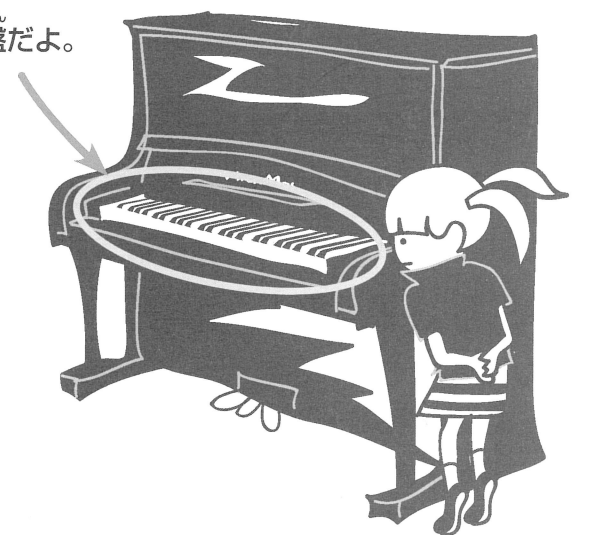
ピアノの横から見たとき、弾いていないときの鍵盤はどのような角度になっているかな？

ヒント

鍵盤の手前側にビー玉を置いて、どのようになっているか観察してみよう。



こんなふうビー玉を置いてみよう。

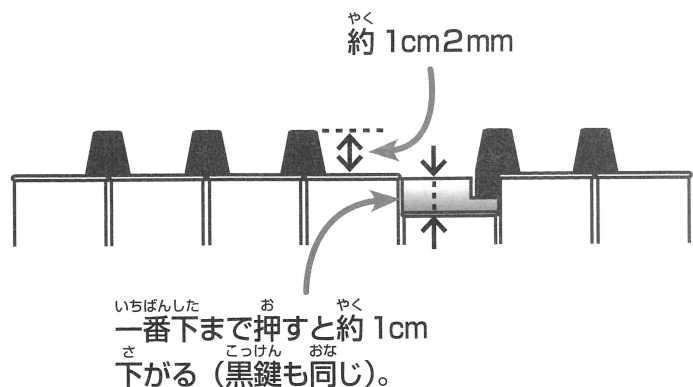


正解は
裏を見てね

せい かい
正 解

クイズ ① 88鍵

鍵盤に並んでいる白い部分のことを白鍵、黒い部分のことを黒鍵というんだよ。ピアノの鍵盤には白鍵が52個、黒鍵が36個あって、合計88個の鍵が並んでいるんだ。ところで、白鍵と黒鍵が同じ高さだったら、とっても弾きにくいよね。だから黒鍵は、白鍵より約1cm2mm上に出っ張っているんだ。



白鍵も黒鍵も、押すと約1cm下がる。ピアノの音は、このほんの少しの動きの中で作られるんだよ。

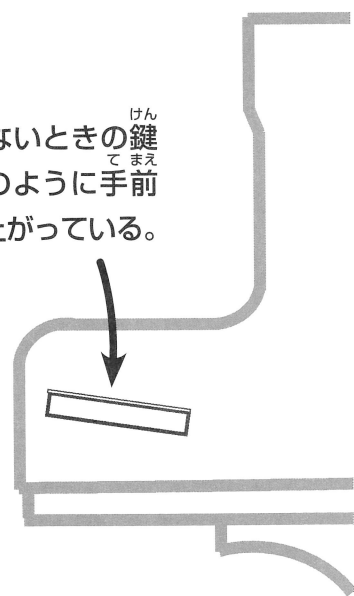
クイズ ②
てまえ うえ も あ
手前が上に持ち上がっている。

ビー玉を置いてみたらどうだったかな？ 奥のほうにコロコロと転がっていったね！

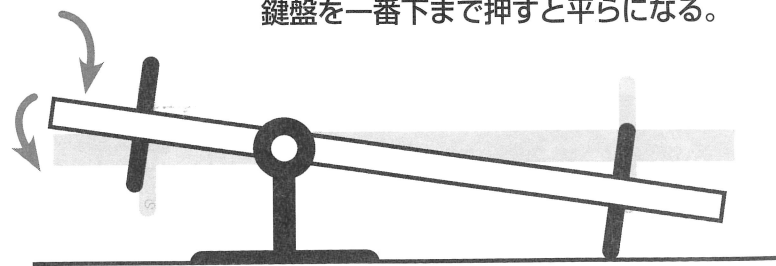
そう、鍵盤は平らじゃないんだ。手前のほうが少し上に持ち上がっていて、下まで押し下げたときに平らになるんだ。もし弾くときに鍵盤が平らだったら、とっても弾きにくいんだよ。

みんながきれいな音を出すためには、シーソーを想像して、上から叩かずに鍵盤に指先をきちんと触れてから押し下げようね！

ひ
弾いていないときの鍵
ばん
盤は、このように手前
のほうが上がっている。



けんばん てまえ あ
鍵盤は、手前が上がったシーソーの
ようなもの。
けんばん いちばんした お たい
鍵盤を一番下まで押すと平らになる。



クイズとドリルで
音楽大冒険

だい 3 かい
第3回 じ だい
バロック時代



こ みやまさやす せんせい
問題作成：小宮正安先生
す だかやす こ
イラストー駿高泰子

こんかい
今回は、バッハやヴィヴァルディでお馴染みの「バロック音楽」が生まれた時代
おんがく う じ だい
についてのクイズだよ。

もんだい
問題 1

みぎ しゃしん そうぞう じ だい
右の写真はあるものを想像してバロック時代に
つく 作られたんだけど、いったい何だろう？

- ① 山
- ② ソフトクリーム
- ③ 雲



もんだい
問題 2

じ だい
そんなバロック時代には、「フーガ」がさかんに作られた。フーガは曲の種類を表
ことば しょうめい
す言葉として有名だけれど、もともとはどういう意味だったと思う？

- ① 食べる
- ② 逃げる
- ③ 遊ぶ

もんだい
問題 3

き き も かんが
ではフーガを聴くと、どんな気持ちになると考えられて
いたのだろう？

- ① 天に昇る気持ち
- ② 海で泳ぐ気持ち
- ③ 朝寝坊している気持ち

せい かい
正 解 は
う ら み
裏を見てね